

「史実を世界に発信する会」

Society for the Dissemination of Historical Fact



《 目的 》

当会の目的は、日本の名誉を守ることにあります。欧米諸国、近隣諸国で流布されている反日プロパガンダに対して主として英文で反駁するため、その土台となる「英文 Web 資料館」を構築することにあります。

《 活動 》

活動の中心は、近現代史に関する有用な日本語文献を英訳し、これを Web 上で無料で公開することです。英訳された文献は、英文の Web 資料館 (<http://www.sdh-fact.com/>) に掲載され、世界中の誰でもが読み、ダウンロードできます。すでに、15冊の書籍、40点以上の論文、20点以上の公開書簡などを英文（一部中文）で資料館にアップロードしています。また、文献をアップロードする際には、その概要を Email Newsletter で、海外の4千余のリストに email 発信しています。これに日本語解説をつけたものを国内のリストにも送っています。

また、英語圏の理性ある人々に対してこの資料館の英語文献をベースとした正論を訴えていくことが出来ます。南京問題、慰安婦問題、尖閣問題、竹島問題等につきましては、すでにこれらのデータを使って米大統領、議会他への手紙、雑誌への投稿などを実施してまいりました。

Email Newsletter (日本向け) サンプル

SDHF Newsletter No.42J:「尖閣は明代から中国領」の真っ赤な嘘 (下條正男拓大教授)

平成24年5月23日

[名前],

1970までは、尖閣が日本領であることは、国家公認の地図、さらには人民日報記事(1953年1月8日号)などでも認めていたのが中国である。ところが、1968年に発表された国連極東経済委員会報告がこの海域に膨大な地下資源の存在可能性を指摘した途端、台湾、中国とも突如としてその領有権を主張したしたのである。

その論拠たるや、明代から琉球冊封使の記録に尖閣が出てくるであるとか、果ては清代に西太后が清の大官盛宣懷に下賜した詔書があるだとか、全く根拠にならないものである。詔書が偽物であることはすでに完璧に証明されているし、明代に沖縄に派遣された冊封使の記録に出ているからといってそれが領有権を示す根拠などにはなりえない。

下條教授は『正論』5月号論文「尖閣は明代から中国領」の真っ赤な嘘”
<http://hassin.org/01/wp-content/uploads/Shimojo-Senkaku-Islandsj.pdf>
において、文献に基づきこの妄論を徹底的に批判し、否定している。

明代の冊封使の記録に久米島までが琉球の領土と出てくるが、だからといって尖閣が明の領土だったわけではなく、無主の島だった。何しろ明代は台湾も明の領土に入っていなかったのだ。清代になり、ようやく台湾が清の領土の編入されるが、清代の「海国記」に尖閣がでてくる。しかし、その著者が同伴していた冊封使の記録に、台湾の?龍山(現在の基隆)が中華すなわち清の境のことと書いている。尖閣などはるか先である。何よりも清の公式文獻である『台湾府志』にも?龍が中華の界との記述があるばかりでなく、『台湾府志』に尖閣など全く出てこないのである。

要するに中国は一片の理のない主張を盗人だけらしく行っているのである。言っているだけで済ますつもりのないことは言うまでもない。世界に中国の嘘を訴えるべきである。下記の通り、発信する会サイトに掲載し、海外に発信した。発信する会 茂木弘道

It's a sheer lie that the Senkaku Islands have been Chinese territory since the Ming Dynasty

Before 1970, both the Republic of China and the People's Republic of China acknowledged that the Senkaku Islands were the territory of Japan, in official statements, in maps made with government approval, and the party newspaper, "The People's Daily," as well. (as seen in our site; http://www.sdh-fact.com/CL02_1/79_S4.pdf)

In 1968, the United Nations Economic Commission for Asia and the Far East (ECAFE) published its findings of surveys of the waters surrounding the Senkaku Islands, which stated that there might be huge natural resource deposits below the seabed. Thereafter, claims suddenly emerged from Taiwan and China to the Senkaku Islands as their territory.

From 1970, China unashamedly started to argue that the Senkaku Islands had been the territory of China since the Ming Dynasty. However, this is a sheer lie. Professor Shimojo precisely verifies that not only the Senkaku Islands were a part of the Ming Dynasty's territory but they were also not a part of the Qing Dynasty's territory, based on official documents of both dynasties in his paper:

*Summary: http://www.sdh-fact.com/CL02_1/87_S2.pdf

*Full Text: http://www.sdh-fact.com/CL02_1/87_S4.pdf

(以下略)

支援金 募集中	日本の名誉を守るために 海外に向け情報発信を 実行しています 国を思う皆様のご支援を 是非お願い致します	●個人会員(年会費1口)1万円 ●賛助会員10万円 ●法人会員30万円
		☐郵便振替00170-1-389220 ☐三井住友銀行日比谷支店 普通8286008 ☐店名:史実を世界に発信する会
<small>*賛助金をいただいた方のお名前がイニシャルにて、毎月ホームページ(ニュースレター欄)にご報告します。*収支報告は、半年間と同じくニュースレター欄に掲載します。</small>		

事業紹介	掲載文献	資料室	ニュースレター	会員の主張
当会事業・及び役員の紹介です。	文献の翻訳状況や、当会の成果物を紹介します。	参考資料や、お薦め文献を紹介します。	メールマガジンのバックナンバーです。	当会員個人の活動・研究・主張等を紹介しします。

日本国内に向けて史実を発信していく活動も行っています。日本語のサイトには、英文掲載文献の日本語原文、会の活動、収支報告、その他が掲載されています。<http://hassin.org> 南京事件、慰安婦問題、東京裁判などゆがめられた歴史を正すことを目指しています。昨年12月8日には、日米開戦70周年を記念して「アメリカはなぜ対日戦争を仕掛けたのか」と題する第講演会を憲政記念館で開催しました。

<h2 style="margin: 0;">史実を世界に 発信する会たより</h2> <p style="margin: 0;">Society for the Dissemination of Historical Fact</p>	<p>Vol.5 平成24年4月2日</p> <p>発行所 史実を世界に発信する会</p> <p>発行人 加瀬英明</p> <p>編集人 茂木弘道</p>
--	---

特集 第1回講演会報告

“アメリカはなぜ対日戦争をしかけたのか”大盛況のうちに終了 開戦70年の日に600人の聴衆が集まる

昨年12月8日、日米開戦から70周年の日を迎えるにあたり、これまでの史実検証の結果として、あの戦争は我が国日本が引き起こしたのではなくアメリカが仕掛けたものである、と確信する弊会では、記念すべき第1回講演会を、“アメリカはなぜ対日戦争をしかけたのか”と題して憲政記念館に於いて開催した。

客観的な対米辛口評論で知られる著名ジャーナリストの高山正之氏、冷静かつ公平な視点から分析する元ニューヨークタイムズ東京支局長のヘンリー・ストークス氏の他、弊会からは会長の加瀬英明と事務局長の茂木弘道など4名の識者が、史実に基づく知見を披露し、基調演題を以下の如く確りと裏付けた。



最近の Newsletter

No.13. 胡锦涛はなぜ公開質問状に答えられないのか 16. 『「パル判決書」の真実』（渡部昇一）23. 日中戦争は中国が起こした 25. 『中国大虐殺史』（石平）26. 韓国併合100年目に真実（黄文雄）28. 韓国併合一収奪されたのは日本人だった 30. 中国の領有権主張は恥ずべきウソである 31. 『日中戦争：戦争を望んだ中国、望まなかった日本』（北村稔）34. 尖閣諸島はあらゆる面からみて日本領である 37. 戦争を起こしたのはアメリカである 39. 慰安婦の素顔 40. アメリカ人の南京目撃証人は一人もいなかった 41. 「東海」が紀元前からあったというのは真っ赤なウソである（下條正男）42. 「尖閣は明代から中国領」の真っ赤な嘘（下條正男）45. 日韓併合は日本の誇り

《ご支援のお願い》

English speaker が感心して読むレベルの英語に翻訳することが、絶対的に必要な条件です。したがって、英訳費用がどうしてもかさむこととなります。当会は政府の支援を受けていないため、この翻訳費用を含めて活動経費は全て皆様からのご寄付で賄っています。

外務省が当然行うべきことを行っていません。その結果、世界の人々は、南京虐殺は事実と思い、中国はこれを外交の手段として悪用しています。慰安婦の強制連行などと云うウソがあったという前提で、アメリカ、カナダ、オランダ、EU の議会で、日本非難決議が採択されるありさまです。われわれ日本人の名誉が損なわれるばかりか、子々孫々にわたり不名誉を残すこととなります。

外務省がやるべきだ！といくら叫んでも一歩も事態は改善されません。やれることをやれる人がやろう！私たちは立ち上がりました。志ある皆さまのご支援を宜しくお願い致します。

史実を世界に発信する会役員・顧問

代表 加瀬英明

委員	茂木弘道 (事務局長)	顧問	井尻千男	顧問	中條高德
委員	西大路達樹	顧問	大原康男	顧問	長谷百合子
委員	藤田裕行	顧問	日下公人	顧問	長谷川三千子
委員	菊地正	顧問	黄文雄	顧問	藤井巖喜
委員	原島聰	顧問	小堀桂一郎	顧問	ペマ・ギャルポ
委員	佐伯一馬	顧問	杉原誠四郎	顧問	宮崎正弘
委員	空花正人	顧問	石平	顧問	百地章
委員	東郷雄策	顧問	高山正之	顧問	渡部昇一
監事	土井均	顧問	田久保忠衛		

* 主な英文掲載書籍

『パール判決書』(700ページ全文) 『南京虐殺の徹底検証』(東中野修道)

『南京事件：「証拠写真」を検証する』(東中野他) 『南京事件—国民党秘密文書から読み解く』(東中野修道) 『満洲国は日本の植民地ではなかった：』(黄文雄) 『よくわかる慰安婦問題』(西岡力) 『東京裁判 日本の弁明』(小堀桂一郎) 『日中戦争：戦争を望んだ中国、望まなかった日本』(北村稔・林思雲)

会の住所等